

# 超高齢社会に向けた、団塊世代・元気高齢者による地域活性化事業

## 【これまでの取組】

◇これまでの都の元気高齢者対策は「本人がいつまでも元気に生活できること」「本人のための社会参加促進」が主たる目的

- ・シルバーパス事業
- ・老人クラブ
- ・高齢授産事業（15年度末廃止）

## 【今後10年で予想される東京の変化】

- ◇団塊世代の高齢化により今後10年で高齢者人口が80万人以上増加
- ◇現在の推計でも元気な高齢者は約8割
- ◇自宅での自立した生活を希望する高齢者も増加
- ◇団塊世代はより多様な価値観や豊富な社会経験の持ち主
- ◆一人暮らし&夫婦のみ高齢者世帯の増加により、「自助」がこれまで以上に低下
- ◆都市化の進展、人口の流動化等により、これまで培われてきた「共助」の低下が加速

## 【施策の方向性と今後の課題】

元気で意欲的な高齢者を「地域社会の担い手」と位置づけ、豊かな知識・技術・経験を十分に活かしながら、自主的・自発的かつ継続的に活動できる環境を整えることで、活力ある超高齢社会を実現

「支えられる存在」から「地域社会を支え活性化する存在」へ高齢者像の一新  
○本人の健康寿命の延伸はもとより、団塊世代・元気高齢者を「地域における福祉保健の推進役」として積極的に活用

地域を活性化する「地域サポーター」への進化を期待

## 「団塊世代・元気高齢者地域活性化推進協議会」

構成：学識経験者、関係団体等、企業、NPO、都民委員、区市町村 など

検討事項：事例収集・検証とともに

- ①「地域サポーター」(仮称)としての人材育成のあり方
- ②活動に参加する側(担い手)と支援を必要とする側(受け手)とのマッチング
- ③自主的・自発的な活動が継続するための仕組みづくり
- ④①～③を構築するためのモデル事業の提案、検証(21年度～)

活動期間：20年度～22年度(予定)

機運づくり

東京における地域ケア・シンポジウムなど

先進事例の紹介等

「新しい高齢者像」の発信&機運づくり  
団塊世代・元気高齢者による地域活性化の仕組みづくりに向けた提案

団塊世代・元気高齢者等による地域活性化モデル事業(21年度～)

高齢者福祉だけでなく、福祉保健の多様な分野で地域の担い手として団塊世代や元気で意欲的な高齢者が活躍

## 【スケジュール】

	20年度	21年度	22年度
協議会	課題整理 モデル事業提案	モデル事業検証	モデル事業検証 仕組みの提案
モデル事業	予算事業化		
機運づくり	東京における地域ケア・シンポジウム等		